

令和7年度まちづくり懇談会内容

日時：令和7年12月4日（木） 13：30～

場所：いこいの湯宿いろは

出席者：4人

- 1.開会
- 2.町長説明
- 3.懇談
- 4.閉会

【懇談・そのほか質疑など】

■ 宿泊税	
町民	宿泊税は、宿泊業以外の町民からはどう受け止められているのか。宿泊税の使い道は何か。
商工観光課長	宿泊税に関する意見交換の場を事業者のみだけでなく町民対象にも実施している。飲食事業者も売上や観光客が来ないという実情は懸念しているようだ。また、域内交通の充実を進めてほしいとの意見もいただいた。
町民	サービス業の方からの意見が主なのか。
商工観光課長	そうだ。意見交換会は町民の参加は多くない。冬は飲食店が混雑しているため外食しづらいといったことは感じていると思う。
町長	観光客による恩恵がある反面、自然景観への影響などを懸念しており、自然景観の保護などに期待していると思う。観光客が税金を支払い、事業者が窓口となって徴収しているので、観光とは関係ない部分に宿泊税を活用するということは法的にも成り立たない。
副町長	目的税なので観光に関すること以外には使えない。しかし、ほかの町よりごみ排出量が2倍以上あるという状況もあるので、そこに充てられないか検討している。スキー場利用の観光客による救急の怪我なども多いので、救急体制の整備にも多額の費用がかかる。観光客が不便に感じる部分への対処法を検討していく。
町民	土地の値上がりの影響で住みたくても住めない現状がある。宿泊税を活用できないか。
副町長	外国人が多く来ることによる影響に対して宿泊税を充てるということは考える余地がある。

■ 宿泊客	
町民	宿泊業で一棟貸しを行っているが、来週宿泊予定の中国人が社会情勢により

	来れなくなった。ほかに宿泊業を経営している人でそういった影響は出ているのか。
町民	私の所では来れなくても予約したら返金不可としている。
副町長	春から秋にかけては観光客が減っているという状況を事業者から聞いた。また、JTBFの研究者が日本の経済状況や物価高騰により、生活支出が観光に回らず、全国的に観光客が減少傾向になっていると言っていた。

■ニセコ高校寮	
町民	ニセコ高校の新しい寮はシャワーのみだが、水の問題による影響なのか。
教育長	寮を建設するときに水不足の課題感があった。また、今の高校生はシャワーのみで十分だという意見があったため、シャワーのみ整備する方針で進めてきた。寮生が綺羅乃湯などを利用しやすくするために、町として支援することも検討している。
町民	ニセコ高校のインスタグラムで希望が丘寮のお風呂掃除の様子を見た。寮のお風呂は循環式になっていないのか。
教育長	循環式になっていない。今は男子のみ利用している。昔は時間を区切り、男子の後に女子が入るといったシステムになっていた。
町長	個室の湯舟があれば入りたいという生徒もいる。一部綺羅乃湯に通っている高校生もいる。水の量やお湯を温めるのにもエネルギーを使うので、維持管理の面で難しい。
商工観光課長	来年度から、ニセコ高校生は学生証が確認できれば綺羅乃湯を割引で利用できるよう検討を進めている。
町民	若い世代はシャワーが主流だというのは分かったが、健康面でお風呂は血液循環や健康の観点において大事だと思う。

■綺羅乃湯	
町民	綺羅乃湯のHPの「リアルタイム混雑状況」を見ると、定休日でも「混雑している」という表示が出ている。紛らわしいので改善してほしい。
商工観光課長	定休日に清掃が入っているので、スタッフの出入りが反応して「混雑している」という表示になっている。
町民	システム改修なので難しいかもしれないが、定休日なら定休日という表示にしてほしい。
商工観光課長	定休日はHPのカレンダーから確認してほしい。
町民	綺羅乃湯も水の問題があると聞いている。現状で厳しい問題はあるのか。
副町長	綺羅乃湯で水が足りなくなっているという状況は現状はない。

■ごみ袋	
町民	最近町の燃やすごみ袋の材質が変わった。どういう経緯で変わったのか。
町民	以前のごみ袋は薄すぎて、捨てる時に裂けてしまうという苦情が多かったため、従来のゴミ袋より厚くした。
町民	厚さだけでなく材質も変わっていて扱いにくくなった。なぜ変更したのか。
副町長	課題が改善されて良くなったという認識だ。これまでのごみ袋は薄く破れやすかったが、変更してから厚くなった。
町民	全然そのような感覚はない。どういうスペックのものになったのか。どこが担当なのか。
副町長	町民生活課が担当している。生ごみ袋についても温かいものや水に触れると破けやすいといった意見をいただいております、改善できるようなごみ袋への変更を検討している。
町民	ごみ回収後、さらに分別しているのではないか。
町民	羊蹄山麓町村のごみは、倶知安町のニセコ環境に持ち込む。燃えるごみはニセコ環境で仕分けしている。
町民	ニセコ町のごみ袋は価格が高い。材質を変えて値上げしたのかと思った。
副町長	ごみ処理にかかる費用は町としても悩んでいる。1 kgあたりのごみ処理に55円の費用がかかっている。本来なら事業系ごみとそれ以外のごみに分かれているというのが原則だ。そのように分けなければならないという議論も出ている。

■ごみ処理	
町民	ごみ処理について倶知安町が主導で決めたと聞いているが、分別が大変だ。もう少し優しい分別レベルにしてほしい。プラスチックもリサイクルしているわけではなく、結局焼却している。
副町長	環境に配慮しているため細かな分別になっている。もともとごみ処理で一番お金がかかるのは最終処分場だった。豊里の最終処分場が埋まってしまい、もう一つ隣に建てる予定だったが、新しく建てた最終処分場を使わないうちにRDF化でやることになった。豊里の最終処分場を長く使うことが一番経済的に良いということで話がスタートした。その処分場を長く持たせるためには、できるだけ分別し、できるだけ資源に戻せるものは戻す。捨てる分は最低限の量にすると、当初の予定よりも長く使える。そのため、施設として一番お金がかからない。せっかく分別したのに結局焼却していることは確かであり悩ましい。
町長	都市部だと、燃やしてもきれいにできる火力を担保できる施設があるためコスト的にも実現可能だ。ニセコ町の人口規模や周辺自治体を含めて考えると、

	高性能な焼却炉に投資するのは難しく、ゴミ袋の価格設定もコスト高となってしまふ。
--	---

■町有地利活用	
町民	武蔵野市は庁舎の隣に焼却炉がある。煙突は立っているが、市民の苦情もない。また、蒸気にして温水プールに活用したり、電力も生み出していて灰も活用している。しかし、その建物を建てるのには111億円かかったそう。そこまで立派なものは作らないにしても、小型でそういった施設を建てることは可能ではないか。
副町長	大きなお金がかかることはすぐにできない。施設に寿命が来た時や方針が変わったときに変えていくしかない。浄化槽の汲み取り施設も莫大なお金がかかるため、ひとまずきれいな水が出るまで使い続ける予定だ。
町民	企業誘致も含めた町有地利活用というテーマもあったので、ゴミ処理場の一体もその考えの中に入れて整理するのがいいと思う。町有地はたくさんある。
町長	町有地はほとんどない。市街地は特にない。

■綺羅街道	
町民	綺羅街道を多くの観光客が歩くような場所にしたほうがいいと思う。
副町長	過去に綺羅街道で、数年だが花を見るバスツアーやっていた。商工会が主導で綺羅街道の花作りをやっていたためだ。
町民	最近では綺羅街道の商店も衰退し、買い物もできない状況になっている。
副町長	冬になると飲食店はとても混んでいる。
町長	今閑散としているのは、まだスキー場がオープンしていないからだと思う。
町民	飲食店自体が少ない。お店を開きたくても開けないという状況がある。これまでお店を経営していた方が閉店し、そのまま住んでいるというのが現状だ。

■道路整備	
町民	冬に救急で運ばれる人が多い。病院で入院している外国人に話しかけたが、原因は夜道を歩いていて転んでしまい、骨折したという話を聞いた。道路の整備を強化したほうがいいのではないか。
副町長	ニセコ町の除雪のレベルは高いと思う。他地域と比べても除雪はきれい。夏と同じ生活はできない。
町民	観光審議会ではラインレーザーを導入し、歩行者の安全確保について検討したらしいのではという話が出ていた。

■フードロス	
町民	フードロスについて関心がある。どういうふうに関心しているのか。フードロスに対して町はどのような考えを持っているか見える化してほしい。
商工観光 課長	今年は子どもたちを中心にした食品ロス料理教室などを実施している。農家さんを訪問し、収穫体験から食べるまでを体験する取り組みだ。事業者も子どもたちも地産地消を考えたり、野菜の端材を出さないように工夫して調理したりした。一度親子参加でも実施した。
副町長	ドギーバックについてはどうか。
商工観光 課長	ドギーバックは、昨年作っていて今も在庫はある。なくなり次第追加する。
町長	居酒屋さんなどで持ち帰り用として活用されている。